

総合内科 初期研修プログラム)

【研修責任者】 岩本 達治

必修科目：一般外来

【研修目標】

1 到達目標 (G I O : General Instructional Objective)

初診患者の診療、及び慢性疾患患者の継続診療を一般外来において実践するために、症候・病態について適切な臨床推論プロセスを経て解決に導き、頻度の高い慢性疾患の継続診を行うことができる外来診察の基本的臨床能力を身に付ける。

2 行動目標 (S B O s : Specific Behavior Objectives)

- (1) 医療面接ができる。(初対面時の挨拶、観察、言葉使い、患者解釈モデルの理解、多彩(多種多様)な場面への対応、外国人、親・家族・周囲の人・キーパーソン、いろいろな人への対応)
- (2) 基本的な身体診察(病歴聴取から体系的診察)が行える。(聴診、脈診、打診、触診、打腱、眼底所見、耳鏡)
- (3) 患者プライバシーについて個別的な配慮ができる。(子供・思春期・女性など)
- (4) 適切な臨床推論プロセスをもとに検査計画を立案できる。
- (5) POS様式でカルテ記載ができる。(病棟との相違点として短時間で要点を記載できる)
- (6) 病状説明、同意取得、およびその内容を正確にカルテ記載できる。
- (7) 他科コンサルテーション、診療情報提供書の記載ができる。
- (8) 帰宅か、入院か、他施設への紹介かを臨床的に判断できる。
- (9) 医療倫理を理解し、医師としてのプロフェッショナリズムを体得する。

【研修方略】

1 研修場所 浜松労災病院 外来

2 研修期間 20日以上

3 研修方法

総合内科外来において一般外来患者の担当医として初療・再診を指導医とともに診療を行う。

4 研修スケジュール

研修方略に示す研修スケジュール

【研修評価】

1 評価方法

<形成的評価>

指導医は、各外来において個々の診療経過中に研修医の診療内容を評価し、フィードバックによる形成的評価を行う。研修医は、その日の行動目標に該当する項目について研修到

達成度の自己評価を PG-EPOC に入力する。

<総括的評価>

研修医は、研修期間終了時まで一般外来において経験すべき疾患、病態、患者背景について自己の研修到達度を PG-EPOC に入力する。指導医または指導責任者は、当該研修期間終了時に一般目標、行動目標の達成状況を PG-EPOC に入力する。評価基準に到達していない研修医は別途、指導医が面談にて指導を行い文書として記録を残す。

週間スケジュール

	午前	午後	他
月	一般外来	一般外来	
火	一般外来	一般外来	
水	一般外来	一般外来	
木	一般外来	一般外来	
金	一般外来	一般外来	